

金沢大学附属病院産婦人科を受診した卵巣癌患者さんへ 腹膜播種機構解明の研究について

卵巣癌は女性性器の悪性腫瘍のうち最も死亡率が高く、その要因は腹腔内播種性転移という進展形式にあります。自覚症状に乏しいため約70%の症例が腹膜播種性転移を起こした進行症例で発見され、腹腔内播種が腹水貯留を引き起こし患者さんのQuality Of Lifeを低下するだけでなく、治療にも難渋します。このようなことから、卵巣癌において病状の中心となる腹腔内播種形成の分子機構の解明が治療方針や患者さんの予後を決める上で重要と考えられます。

ただし、腹膜播種機構の解明についてはこれまでまとまった研究がなく、詳しくわかっていませんでした。こうした疑問に答えるために2002年1月から2021年12月までに、当院で得られた検査・治療の結果を調べる研究を予定しております。

この研究ではこれまでに行われた検査や治療内容のデータを使いますので、患者さんの負担はありませんし、今後の治療方針にも影響しません。また費用の負担もありません。

なお、この研究は金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、病院長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2002年1月1日から2021年12月31日までの20年間に当院の産科婦人科で手術が施行され、病理組織学的に卵巣癌と診断された症例、または他院にて診断され、同期間に当院にて加療をおこなった症例です。

この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、データは使いませんし、またこれからの治療に差し支えることは全くありません。また、ご自分がこの研究の対象になっているかお知りになりたい方についても、お調べしお答えいたします。

2. 研究の目的について

研究課題名：「卵巣癌腹膜播種の発生機序の解明と治療戦略構築に向けた基礎研究」

この研究では卵巣癌患者さんの中で、診療情報のデータや手術検体を元に、この病気における腹腔内播種の形成と関連する分子を調べることを目的としています。

3. 研究の方法について

この研究では、上記期間での対象となった患者さんについて、診療のときに検査した採血・画像結果や病理結果のデータを使います。そのときに患者さんのお名前などの個人情報を削除します。この後、必要なデータをまとめ、卵巣癌腹腔内播種に関連する分子とその機序の解明についての研究を行います。集めたデータは学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報が公表されることはありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学医学倫理委員会の承認日から2022年3月31日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、病歴、術前および術後の検査所見（画像検査所見、腫瘍マーカー

等)、治療内容、病理診断、病理検体番号等

試料：血液、腹水、手術で摘出した組織等

6. 外部への試料・情報の提供・公表

この研究は当院での試料・データの調査だけを行う研究であり、共同研究機関や海外に試料や情報を提供することはありません。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうことがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究では、患者さんのお名前に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。データの調査のときに個人情報が漏れないように、この一覧表は、データとは別に扱います。

また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、あなたの個人情報などが公表されることは一切ありません。

9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用の負担や研究のためだけの新たな通院はありません。

10. 研究組織

研究責任者：金沢大学医薬保健研究域医学系分子移植学・教授・藤原浩

研究分担者：金沢大学附属病院産婦人科・講師・中村充宏

金沢大学附属病院産婦人科・助教・水本泰成

金沢大学附属病院産婦人科・周産母子センター・特任准教授・小野政徳

金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・飯塚崇

金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・鏡京介

金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・小幡武司

金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・松本多圭夫

金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・松岡歩

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2018年4月30日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

1 2. 個人情報の開示について

金沢大学における個人情報の開示の手続については、次のホームページを参照してください。

http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_syomu/kojin-jyouho/

1 3. 研究計画書など資料の入手について

この研究の研究計画書などの資料が欲しい、またはごらんになりたい場合は、研究に関する窓口にお問い合わせくだされば、対応いたします。

1 4. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたいときには、遠慮せずにいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：金沢大学医薬保健研究域医学系分子移植学・教授・藤原浩

問合せ窓口：金沢大学附属病院産科婦人科学教室

連絡先担当者：金沢大学医薬保健学総合研究科分子移植学・医員・松岡歩

住所：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2425